

Osaka Shin-Ai Megumikai

大阪信愛女学院短期大学同窓会 〒536-8585 大阪市城東区古市2-7-30 TEL 06-6939-4391



新しい出会い

前めぐみ会会長 早川 久美子

めぐみ会の皆様 お元気でいらっしゃいますか。

昨年11月の楓祭に学院で開催されました総会にて私の会長退任が承認されました。

長い間、理事長様はじめ諸先生方、会役員そしてめぐみ会の方々に支えられご協力頂き、力不足ながら何とかお世話させて頂いた事を心から感謝致しております。紙面をお借りし厚くお礼申し上げ、御報告させていただきます。

長いようでアッと言う間に過ぎ去った10年でしたが多くの楽しい又素晴らしい思い出や感動を頂きました。もっともっと力を尽くすべき事が沢山あったと思いますが、新しい役員の方々にバトンタッチし陰ながらめぐみ会の一員としてお役に立てればと思っております。

今年の総会（別途御案内）にて新役員の方々の承認式をさせて頂きたく皆様のご出席を心よりお待ちしております。

新役員の方々との引き継ぎを終えた帰りのバスの中で私はウキウキしておりました。新役員の方々が素晴らしい方々だったので最後までいい出会いに恵まれたと一人喜んで明るい気持ちで帰路につきました。今迄一緒にめぐみ会を盛り立てて下さった役員の方々、これから会の為に働いて下さる新役員の方々、今迄私が出会った沢山の方々に心より感謝を、そして、これからは会員の皆様の温かいご協力を心から願いお祈り申し上げ、私の最後のご挨拶とさせていただきます。10年間本当にありがとうございました。

感謝のうちに



ごあいさつ

めぐみ会会長 半澤 眞智子

今年3月の東日本大震災、さらに福島第一原発の放射能事故という未曾有の大惨事に見舞われ、犠牲者や被災された方々のことを思うと心が痛みます。会員の皆様のご家族やご親戚で被害に遭われた方はいらっしゃいませんか。心よりお見舞い申し上げます。

今年度よりめぐみ会の会長をさせていただくことになりました。役員全員が新任という体制でのスタートで、いまだに戸惑うことばかりですが、微力ながら会の為にお役にたてれば、と考えております。長きにわたって、めぐみ会発展のためにご尽力頂きました前会長の早川様をはじめ旧役員の皆様に改めて心から厚くお礼を申し上げます。

短期大学も時代と共に様変わりしています。人間環境学科を発展的に引き継いで新設された看護学科は開設3年目を迎え、来春には一期生が巣立ちます。毎年、志願者が増えて人気の学科になりつつあります。保育士、幼稚園、小学校教諭免許や看護師資格などの取れるコースがあることは就職する上でも強みになっています。教職から一般企業まで卒業生の活躍するフィールドは多彩です。就職に強い信愛は、ほぼ100%の就職率だそうです。

学院が取り組んでいる様々な活動を会報やホームページを通じて少しでも多く発信し、短大と会員の皆様との懸け橋になれば、と考えております。

短大祭（楓祭）が11月5、6日に開催されます。会ではホームカミング・デーとして両日ともささやかではございますが、お菓子や飲み物などをご用意して皆様方のお越しをお待ちしております。お気軽にご参加頂き、母校での楽しいひと時をお過ごし頂ければ幸いです。

母校の発展のため、めぐみ会としても出来る限り、尽力していきたいと思っております。今後とも会員の皆様方のご支援、ご理解をよろしくお願い申し上げます。

第27回
総会

日時：11月5日（土）
場所：大阪信愛女学院短期大学
城東学舎302教室
AM11:00 受付 11:30 総会

●イベント●

ブリザーブドフラワーアレンジメント

【5日】13:00・14:00

【6日】11:00・13:00

参加費 500円



ご挨拶

めぐみ会 顧問 短期大学学長 高坂 祐夫

暑い日が続きますが、皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうかお伺い致します。
本年より新しい役員、執行部のもとにめぐみ会が活動を始めています。旧会長様、
役員の皆様方にこれまでのご尽力に対しこころからお礼申し上げますと共に、新役員の
皆様方、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今、わが国の短期大学では、学生の学力低下とコミュニケーション能力の不足、少子化での定員割れによる財政不安定が深刻化しています。とりわけ学力低下が問題とされています。本学においても例外ではありません。

このような事態を打開していくために数年前より、建学の精神に基づく教育の理念、目標を再確認し、教育内容、方法、環境など、教育の在り方の抜本的な見直しを進め、大学本来の使命である教育が社会のニーズに積極的に対応し、現代の社会に通用する高レベルな教育プログラムとして学生に提供できているかどうかを教職員挙げて検証し、出来ることから取り組みを始めているところです。

これらの一環として、初等教育学科は、来年度より「こども教育学科」としてさらに新しい様々なカリキュラムの導入を計画しています。また、学科創設3年目を迎える看護学科では、3回生が病院実習に頑張りつつ、国家試験対策に取り組んでいます。大学として万全を期すよう様々なサポート体制を整備しています。辛い入試の競争倍率も年々高くなり、優秀な人材で定員が埋められています。

さらに、本学の特徴として社会人の受け入れを推進しています。生涯学習型の社会になっている現在、本学では学ぶことを希望する学生や社会人に対して限りなく学ぶ「場」を提供することが、大学本来の使命であると考えています。現在、両学科で多くの方々が学んでいます。

キリスト教精神に基づく教育を使命とする本学において、勉学に励み、自己研鑽に努めた卒業生が、より明るく周囲を照らす光となって、平和な社会の建設に貢献していただくことを心から祈念してご挨拶に代えさせていただきます。

同窓会サイトリニューアル

この度、めぐみ会のホームページを全面リニューアルいたしました。(11月公開予定)

リニューアルにあたり、URLが変更されますので、ブックマークの修正をお願いいたします。

新URL : <http://www.shinai-megumi.org>

信愛 めぐみ会

検索

リニューアルにあたり、トップページのブログから「総会やイベントのお知らせ」「同窓生の近況報告」「同期会の告知」など更新していく予定ですので、皆様のお便りなどを募集します!また、住所の変更も同窓会サイトから簡単に出来ますので、会報などお知らせが届かない同窓生にお伝え願います。右上の「メッセージ・住所変更」のボタンから多くのメールをお待ちしています。(同封の葉書でご記入いただいた近況も掲載させていただきます。)

お気づきの点等がございましたら、ご連絡ください。
今後ともめぐみ会のホームページをよろしくお願いいたします。

※短期大学のトップからは右上の「卒業生の方へ」から、「めぐみ会(同窓会)」をクリックしてください。

役員紹介

会 長	半澤(角田)眞智子
副 会 長	八尾(草開)福 代
会 計	吾郷(後藤)裕 美
書 記	土屋(田中)ひとみ
顧 問	高坂 祐 夫学長
担当教授	馬場 桂一郎先生
	高井 明 徳先生



今・短期大学は…

看護学科

戴帽式について

看護学科第1期生（平成21年入学、現3回生）の第1回戴帽式（たいぼうしき）は、昨年（平成22年）9月8日に厳粛に挙行されました。当日多数の保護者の方が参列され、その関心の高さが伺えました。学生たちはこの戴帽式を終え、本格的な臨地実習（病院等での実習）である基礎看護学実習Ⅱに臨みました。

戴帽式は、本格的な臨地実習にあたり、看護師を目指すものとして、意識を高め、責任の重さを自覚し、決意を確固なものにするための儀式で、ナースキャップが与えられ、近代看護を確立したフローレンス・ナイチンゲールの人間愛の精神を受け継ぐべくナイチンゲール像から灯りをいただき、誓いの言葉を述べます。

昨今、ナースキャップをつける病院が少なくなり、戴帽式を行う学校も少なくなっています。戴帽式は、修道女の誓願の儀式に由来するといわれています。カトリック校の本学では、その精神を大切に戴帽式を行うことになりました。

戴帽式での誓いの言葉は、戴帽を受ける学生たちが熟考の未完成させたすばらしいものでした。また、誓いの言葉の後の聖歌「光になろう」の合唱は、看護師として必要とされる人々に少しでも役に立てる存在、小さくとも世を照らすこと

のできる光になれるように成長したいという戴帽学生の心が、歌声と共に大きく広がってゆくようでした。伝統的な戴帽式の中にカトリック校としての信愛らしさが感じられた心に残る戴帽式で、戴帽学生はもちろん、参列の方も感動の時間を過ごされたと思います。

看護学科長 高井 明德

大阪信愛女学院短期大学看護学科1期生 戴帽式 誓いの言葉

- 私たち大阪信愛女学院短期大学看護学科1期生43名は、戴帽式を迎え、今ここに誓います。
- 私たちは、看護に必要な知識・技術を身につけるため、生涯にわたり学び、探求します。
- 私たちは、患者様に寄り添い、その思いに真摯に耳を傾け、心から信頼される看護師をめざします。
- 私たちは、仲間とともに支えあい絆を深め、共に成長するよう努力します。
- 私たちは、信頼と愛の心を持ち、高い志で、私たちの手に託された人々の幸せのために誠心誠意尽くします。



子ども教育学科

学科名称変更について

平成24年4月から、現「初等教育学科」が「子ども教育学科」に名称変更することが、文部科学省から認可されました。「初等教育学科」という名称は、開設当時は、小学校の教諭・幼稚園の教諭を養成することを目的として設立されました。開設当初は、幼稚園の教諭はもちろん小学校にも、毎年20人近くの採用者がいました。その後、社会の変化などの影響もあり、本学では、小学校教諭の免許取得希望者は減少し、現在では、毎年10名前後の状態が続いています。また、府内の短期大学においても、小学校教諭の養成課程を持つのは信愛女学院短大ぐらいになりました。それに加え、本学においても、保育士資格の取得が可能になり、ほとんどの学生が、幼稚園教諭あるいは、保育士として就職するようになりました。また、「初等教育学科」という名称が、小学校教諭の養成だけだと、解釈する受験生も多いことから、乳幼児から小学生までを対象にした、より実体に合った「子ども教育学科」に名称を変更したわけです。入学後のコースは、従来通り「幼稚園・

小学校コース」「保育所・幼稚園コース」と変更はありません。小学校教諭養成は今後も継続していきますので、ご支援をお願いいたします。

今まで、略称で、「初教・ショキョウ」「初教の〇〇さん」と言っていたのが、「子ども・コドモ」「子どもの〇〇さん」と言うようになるのかなあ。少し、違和感があるなあなどと考えています。

名称が変わり卒業生は、少しさみしい思いをされる方も、おられるとは思いますが、今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

初等教育学科長 馬場桂一郎



カンボジアからこんにちは

シヨファイユの幼きイエズス修道会 Sr. 黒岩 あつ子

教会の要請とカンボジアにとっての教育の重要性を考え、5年前、手探りで小さなプレスクールを始めました。2年前より新たに建物の必要性に迫られ、多くの方々のご支援、ご協力によって、昨年6月に園舎が竣工し、現在、遊具も徐々に整っています。

10月に74名が入園し、初年度が始まりましたが、何しろ保育者としての養成を受けていない人、園児としての経験のない人が先生とになって保育せざるを得ないのが現状ですから大変です。先生として現場で保育実習をしながら研修にも参加できるようにし、養成に努めています。また人格形成の基礎となる大切な幼児期に関わらず、家庭の貧しさ故に軽んじられている子どもたちをできるだけたくさん保育できるように希望しています。

詳しくは以下を検索してください。

幼きイエズス会 カンボジア

ホームページがあります。

検索



落成の喜び～親子で記念写真



信愛女学院幼稚園より贈られた教具を使って



園舎全景

園芸療法講座



園芸療法講座に参加してみませんか。毎年秋に園芸療法に関する公開講座を短期大学鶴見学舎で実施しています。

本学では、2004年から園芸療法士の資格が取れるようになり、そして2007年には本学での資格取得者による「園芸療法士の会」ができています。これらとともに園芸あるいは園芸療法に関わる公開講座を年に一度実施するようになりました。

「療法」という文字が付くと何か特別で専門的なお話のように感じられますが、一般向けの公開講座ですから心配いりません。いま多くの方々が関心をもち、そして手軽にされている「園芸作業」、それと「こころ」と「身体」の関係のお話をわかりやすく話してもらっています。例えば、「ヒトと植物とのかかわりー園芸活動はなぜ必要かー」「野の花をより美しく飾る」、あるいは「こころと庭のセルフケア」「ひきこもり支援としての農園芸を通して」「回復期リハビリテーション病院での園芸療法」、昨年は「こころ豊かになる植物との暮らしー認知症高齢者に対する園芸療法の目的・意義・効果について」といったお話でした。

現在、今年の秋の講座の企画中です。この場でお伝えできないのは残念ですが、この会報が発行されているころには詳細も決定していると思います。ご関心のある方は本学のホームページあるいは学校にお問い合わせいただければと思います。

チャペルで結婚式

ご存知ですか？

信愛のチャペルで神父様からの祝福を受けながら結婚式をあげる事が出来ます。

青春時代を見守って下さった神様の御前で愛を誓いませんか。厳粛な雰囲気の中、新しい聖堂で心に残る結婚式をあげる事が出来ます。

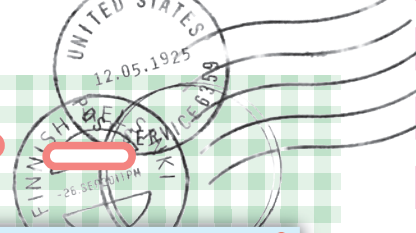
お問合せは学院まで。披露宴も出来ます。

電話番号 06-6939-4391

※信愛のお聖堂は「大阪都市景観建築賞(大阪市長賞)」を受賞しています。



おたよりコーナー



服部とし子（元会長） 家政学科 S.51年卒
宇和盆地のあふれる自然の中だと大阪へ行くのがめんどくさくて…いつかはと思うのですが、11月のこの時期は年賀状のお稽古で動けません。お陰様で現在8教室40名の方に水彩画を教えています。今年は展示会もなく少しゆっくりしていたのですが、やはり無理ですね。盛会をお祈り致しております。

大倉久仁子（旧姓：山中） 初等教育学科 S.58年卒
この度奈良へ引っ越しました。いつも会報を楽しみにしています。住所変更よろしく願います。初ⅡBは10年前から定期的に同窓会をしています。来年は50歳の節目にあたるので、初めての一泊旅行を計画中です。また様子をお知らせします。

田中富佐子 S.43年卒
勤務先の幼稚園の預かり保育の専任担当をしています。通常保育後から17時まで多い時は20名余の3学年の子どもたちがやってきます。毎日参加メンバーが違うので、遊びや会話、つながりにも変化があり子どもたちと一緒に楽しんでいます。

白銀屋世津子（旧姓：林） 家政学科 S.40年卒
いつも同窓会会報をありがとうございます。遠くに嫁ぎ同窓会など参加出来ませんが、いろいろの行事や先生方のご様子を知らせて頂き、いつもなつかしく読ませていただいております。近頃の悲しい事件等信愛の校章でもある“人を信じ愛する心”を一人ひとり考え自分だけではなく皆と一緒に生活出来たらと考えております。

和田淳子（旧姓：吉岡） 初等教育学科 S.52年卒
今年54歳になったわたしですが、昨年ぐらいからペン習字、筆ペン習字の手習いを始めました。子どもの頃は習っていたことはあったのですが、今、週1回1時間ぐらいなのですが、気持ちが引き締まって心が落ち着きます。三女はまだ高校生なのですが、日々子育てに突っ走ってきたのでここで心の休養です。

N・H 初等教育学科 H.10年卒
7月に第3子を出産し育休中ですが、短大卒業後より公立幼稚園の正職として先生をしています。短大で学んだことはもちろん日々の子育てからも保育に実践したいと思い子どもに向き合っています。今は4月の復帰に向けて充電中です。なつかしい短大にも行きたいな♡

山口登茂子（旧姓：吉田） 初等教育学科 H.5年卒
幼稚園教諭を12年勤め結婚退職し5才と2才の子育て専業主婦です。毎日家族4人楽しく過ごしております。



N・M S.55年卒
同窓会の役員の皆様いつも会報を送って頂きありがとうございます。遠方に住んでいる為なかなか同窓会に参加することが出来ず残念に思っております。学長様が代わられたこと又初等教育学科長が馬場先生になられたことを拝見しました。馬場先生には体育の授業でお世話になり懐かしく思っております。現在保育所にて時間外で働いております。日々日々衰えていく体ですが、子どもたちの笑顔にパワーをもらいながら働いています。皆様もどうぞお体には気をつけてくださいませ。

お知らせ

川畑杏奈 初等教育学科 H.13年卒
川畑杏奈さんが、とても素敵な本を出版されましたのでご紹介します。また、月1回 東京と大阪で教室を開かれていますので、詳しくは以下のホームページをご覧ください。
『週末ものづくりの本2 アンナSのはじめての刺しゅう小物』
川畑杏奈 著 2011年2月25日初版発行
美術出版社 ¥1500+税
http://sky.geocities.jp/annas_ocha/

新井寿枝 人間環境学科 H.19年卒
2011年度ミス日本ミス着物に選ばれました。
新井 寿枝（あらい ひさえ）さんは、小学校から短期大学まで大阪信愛女学院で学ばれました。今後は、日本文化を伝える役割を担い、国内外において和装の美を表現するべく活動されます。
新井寿枝さんのオフィシャルブログ
<http://ameblo.jp/hisae-arai/>



第27回 総会のお知らせ

日 時：11月5日（土）

場 所：大阪信愛女学院短期大学 城東学舎302教室

AM 11:00 受付

11:30 総会

新役員の承認式

会則の改正

お菓子と飲み物などを用意しておりますのでご歓談ください。
お待ちしております。

●イベント●フリザーブドフラワーアレンジメント

(5日) 13:00・14:00

(6日) 11:00・13:00

(2日間 計4回)

参加費 500円

とってもリーズナブル

☆当日の申し込みですが数に限りがありますのでご了承ください

☆学生の皆様もご参加くださいね！



大阪信愛女学院短期大学公開芸術公演 『林 裕 チェロ・リサイタル』

●日時：平成23年10月26日（水）

開場 午前10時20分

開演 午前10時40分（午後12時終了予定）

●会場：大阪信愛女学院講堂

●曲目：セルヴェ：ペテルスブルクの思い出

サンサーンス：白鳥

ピアッティ：レース

メンデルスゾーン：ソナタ第2番 ニ長調 作品58 第一楽章 他



*入場無料・申込不要

*曲目曲順を変更させていただく場合がございますので予めご了承下さい。

*7歳以上のお子様よりご入場いただけます。

お車でのご来場はご遠慮下さい。

*** 編集後記 ***

この度初めて、同窓会会報の編集に携わることになりました。

何もかもはじめてのことばかりで、色々試行錯誤しながら、たくさんの方にお世話になり、やっと完成させることができました。

この編集作業を通して、これまで同窓会を支えてくださった役員の皆様のご苦勞を体験することができ、感謝の思いでいっぱいです。本当にありがとうございました。

慣れない新メンバーが担当をしているのでいたらないことも多々あるかと思いますが、これからも会員のみなさまのご意見もお伺いしながら、よりよい同窓会会報作成ならびに同窓会活動を活発にさせていきたいと思っていますので、ご理解・ご協力の程を宜しくお願いいたします。

編集委員一同